『このくらいは・・・だいじょうぶだろう』
過信と油断は、事故のもと

『かもしれない』・・・を習慣にして
『事故ゼロ』に

《雪山が高くなり、見通しが悪くなっています》

雪山などで死角になっている場所から
車や歩行者が飛び出してくるかもしれません
常に、危険を予測しながらの運転をお願いします

○ 横断歩道付近では、　⇒　歩行者を見落とすことがないよう、確認の徹底
○ 登校・下校の時間帯　⇒　特に注意しましょう

事故防止のため　「早めの休憩を」
～2時間走行、15分休憩～

《挟まれ・墜落・転落・下敷き 注意》

《作業中、足を滑らせ、『転倒』に注意しましょう》

峠道　軽乗用車が崖下に転落し大破

運転していた男性の死因は凍死
ガードレールの間から5メートル下に転落か
◇山間部のカーブは・・・スリップしやすい◇

2024/2/27(火)

19日午後1時すぎ、長野県の国道で、道路わきの崖下に軽乗用車が転落しているのを通りかかった人が見つけ警察に通報したもので、車内から男性（75）の遺体が見つかりました。警察のその後の調べで、男性の死因は凍死であることがわかりました。現場は峠道で、軽乗用車は、ガードレールと法面の間から、およそ5メートル崖下に転落したとみられています。

午後7時　信号のない横断歩道
右から横断していた高齢女性

軽乗用車にはねられ一時意識不明
軽乗用車運転の男性、現行犯逮捕
見通しが良い片側2車線の直線道路
◇夜間　右からの横断歩行者は、『発見が遅れる』ので注意しましょう◇
◇『わき見運転』、『漫然運転』はせずに、危険意識を持って、『運転に集中』しましょう◇

2024/2/27(火)

26日午後7時20分頃、愛媛県で信号のない横断歩道を渡っていた女性（73）が左から直進してきた軽乗用車にはねられ、一時意識不明になりましたが、その後、会話ができるほどまで回復したということです。現場は見通しが良い片側 2 車線の直線道路。軽乗用車を運転していた男性（65）が、過失運転致傷の現行犯で逮捕されました。男は容疑を認めていて、警察が原因を調べています。

深さ2mの穴　下水道管の取り替え工事中
男性作業員が生き埋め　病院に搬送も、その後死亡

◇作業前は、『事前打合せ』◇
◇作業中は、『周囲の安全』を確認しましょう◇
◇慣れてきた時ほど慎重に！　慣れてきた時ほど、流れ作業におちいりやすくなります◇

2024/2/26(月)

26日午前11時前、千葉県の下水道管を取り替える工事の現場で、「穴を掘っていたら人が生き埋めになった」と110番通報がありました。警察によりますと、30代の男性作業員が長さ5メートル・幅1メートル・深さ2メートルの穴に入り、下水道管を取り替えようとしていたところ、突然、穴が崩れたということです。男性作業員はおよそ2時間後に助け出され、心肺停止の状態で病院に運ばれましたが、その後、死亡しました。警察は詳しい状況を調べています。